

AT エクスプレス

第30号

今月のオススメは
コレだ!

「鬼神社しめなわ奉納裸参り」

弘前市



今回紹介するのは、弘前市鬼沢地区にある鬼神社で行われるしめなわ奉納裸参りです。

鬼神社のある鬼沢地区はその名の通り「鬼」にまつわる言い伝えがあります。

昔この地区に住んでいた村人達が田んぼに水が無く困っていた時、鬼が水路を開き村人達を助けました。村人達は鬼に感謝して水路の名前を「鬼神堰」、村の名前を「鬼沢」とし、鬼を祀る「鬼神社」をつくったというものです。

これをもとに350年以上も前から続いている「鬼神社しめなわ奉納裸参り」では、毎年旧暦の小正月、締め込み姿の男達が冷水の張られた樽に入って水ごりをしたあと、お山参詣の登山囃子と「サイギ、サイギ」の掛け声のもと、新しい年縄を担いで町内を練り歩き、神社に年縄を奉納し今年の豊作を祈願しています。

極寒の地で熱い男達が勇壮に練り歩く「鬼神社しめなわ奉納裸参り」を是非ご覧下さい。

☆. * . . : ☆ . * . . : ☆ . * . . : ☆ . * . . : ☆

【開催日時】

平成20年2月7日(木)

●8:00 ~ 参加者受付

●9:00 ~ 水ごり

11:30頃終了予定

【開催場所】

弘前市鬼沢地区「鬼神社」

【問合せ先】

弘前市立観光館

TEL 0172-37-5501



青森県の 楽しいイベント

皆さまのご参加をお待ちしております！

東青地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
2007 アスパム ウィンターイルミネーション	12月15日(土) ～2月29日(金) 17:00～22:00	青森市 青森県観光物産館アスパム (017-735-5311)	高さ76mの三角の建物を利用し、電球できれいに飾り付けられるアスパムウィンターイルミネーションは、今回で20回目を迎える。真っ白な雪景色に暖かな雰囲気を感じさせてくれる。また、今年は、アスパム裏手の青い海公園もイルミネーションされ楽しむことができる。この冬の素敵な思い出作りにイルミネーションを見に行こう！	☆
冬の展示 「神仏の世界」	1月1日(火) ～3月30日(日) 9:30～17:00	青森市 棟方志功記念館 (017-777-4567)	代表作「釈迦十大弟子」をはじめとして、棟方は神や仏を題材として多くの作品を制作し独自の世界を創りあげている。仏教経典に取材した板画「観音経曼荼羅」・「般若心経板画欄」や、不動明王の倭画などを展示。 ※展示スケジュールは予告なく変更する場合あり。 ※観覧料・詳しい内容については、下記URLから要問合せ。 http://www.lantecweb.net/shikokan/	○ ☆
かまくら村	1月15日(火) ～3月上旬	青森市 ねぶたの里 (017-738-1230)	この時期だけのお楽しみイベント。カクマキ・ちゃんちゃんこを着てかまくらに入り、雪国ならではの風情を体感できる。開園時間10:00～17:30 最終入園受付17:00	☆
なかどまり イガ米～きてけフェア	2月9日(土) 10:00～	青森市 青森県観光物産館アスパム (0173-64-3942)	中泊町の合同物産フェア。物産が格安販売されるほか、目玉イベントして活ヤリイカ釣り体験や大タコの解体・即売も行われる。	☆
津軽海峡冬景色ツアー	2月9日(土) ～10日(日)	外ヶ浜町 龍飛崎、松前街道 (0174-31-1228)	冬の風物詩「あんこうの解体」「大ダコ釜ゆで」を見学できる。階段国道ウォークや夕食交流会など、冬の外ヶ浜町を満喫できるツアー！！ ※有料・要予約	
日本海 食べまくり小泊	2月11日(月) 18:00～	青森市 青森グランドホテル (0173-64-3942)	小泊港で水揚げされる魚介類を使って青森グランドホテルのシェフたちによる趣向を凝らした自慢のメニューを食べられるイベント。	○ ☆
第26回 白鳥まつり	2月11日(月)	平内町 浅所海岸 (017-755-2118)	ハクチョウの慰霊、長旅を祈願する意味合いで毎年開催している。ホタテ稚貝のみそ汁、ふのり汁の振る舞い、活ホタテや焼きホタテの販売が行われるほか、「ハクチョウの数当てクイズ」を行い、正解に近かった回答者には玩具のプレゼントもある。	

中南地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
津軽ひろさき冬の旅	12月1日(土) ～2月29日(金)	弘前市 市内各所 (0172-37-5501)	弘前城追手門などの文化財や洋館のライトアップ・イルミネーションが行われる。また、津軽三味線を聴きながら津軽の郷土料理を味わい身も心も温まる「津軽三味線酒場ライブ」や約150基にも及ぶ雪燈籠が美しい光を放つ「弘前城雪燈籠まつり(2月)」、冬の城下町をボランティアガイドとともに歩く企画や、酒蔵見学と地酒の試飲を楽しむ「津軽酒蔵めぐり」など、冬の弘前の魅力を堪能できる企画が盛り沢山。 ※企画により開催期間・開催場所が違うので、詳しくは左記に要問合せ。	
十二湖スノーハイク	1月5日(土) ～3月20日(木)頃	深浦町 十二湖地内 (0173-77-3311)	かんじきを履いて十二湖をトレッキング。専門ガイドが同行するので安心して参加できる。雪の上に残る動物たちの足跡を追いかけると野鳥や野ウサギに会えるかも？！	☆
冬のミニ白神散策体験	2月1日(金) ～29日(金) 9:00～13:00 ※要予約	鱒ヶ沢 ミニ白神 (0173-72-2111)	静寂に包まれた冬のブナ林をガイドと共に散策。ブナ等の木々の冬芽を観察したり、ウサギやランといった動物の足跡をトラッキングしたり、冬ならではの体験を楽しめる。	☆
マッコ市	2月3日(日)	黒石市 市内一円 (0172-53-6030)	江戸時代から続く旧正月行事で、黒石名物として知られる、年に一度の大売出し。マッコとは、津軽弁でお年玉のこと。値引きはもちろん、購入額に応じて、景品「マッコ」をもらえるとあって早朝4時から賑わう。甘酒や鍋の振る舞いなどもある。	
鬼神社 しめなわ奉納裸参り	2月7日(木)	弘前市 鬼神社 (0172-37-5501)	弘前市鬼沢で古くから行われている行事。大しめ縄を担いだ、ふんどし姿の若者たちが「鬼神社」を出発し、地区内にある七つの神社や祠に奉納して参拝する由緒ある風物詩。※詳しくは、1面をご覧ください。	☆
津軽くろいし 日本一の雪だるま	2月9日(土) ～10日(日)	黒石市 市内一円 (0172-52-4316)	市民総参加で「数で日本一の雪だるま」づくりをする。期間中は、工夫を凝らしたユニークな雪だるまが観覧者の目を楽しませてくれる。また、「私の雪だるまコンテスト2008」と題して、写真コンテストも行う。3月4日に発表、3月12日に表彰する。(3月10日～24日まで、「スペースまごや」で展示。)	☆
冬のこみせ	2月9日(土) ～10日(日)	黒石市 中町・こみせ通り (0172-52-4316)	伝統的建造物群保存地区に選定されている「こみせ」で、津軽三味線のこみせライブ(無料)や雪見酒の宴(要予約)、ミニかまくらと雪だるまへの点灯式等が行なわれる。その他、べんじや乗りや食べ歩きコーナー、こみせ美術館や酒蔵見学コーナーなどで楽しむこともできる。津軽の冬を満喫しよう！10日(日)には、第20回全日本すずくり回し選手権大会も開催される。	
平成20年 弥生の里風揚げ大会	2月10日(日) 10:00～15:00	田舎館村 ウインズ津軽駐車場 (0172-58-2111)	風揚げを通じ、風の伝統継承を維持するとともに青少年の健全育成・地域住民交流の機会とすることを目的に開催。津軽風愛好者が集まり、子供の部・大人の部・創作の部・団体の部などで競い行われ、津軽平野の空を風一色にする。	☆
白鳥まつり	2月11日(月) 9:00～	藤崎町 白鳥ふれあい広場 (0172-75-2370)	白鳥への餌付け体験の他、雪上運動会や餅つき実演が行われる。また、安東なべやおしるこも無料で振る舞われる。心も体も温まるイベント。 ※天候によって内容が変更になる場合がある。	
第11回 雪の大食卓会	2月16日(土) 17:00～	大鰐町 ひばのくに特設野外会場 (0172-48-5876)	豊かな森に囲まれた早瀬野地区にある「ひばのくに」で開催される野外の大食卓会。里山の食文化を一部再現し、木の実の木酒など山の幸や森の恵みの食の体験ができる。かがり火の中、里山の雪夜の森を満喫できる。 ※要予約	☆

西北五地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
津軽鉄道ストーブ列車	12月1日(土) ～3月31日(月)	五所川原市 津軽鉄道 (五所川原⇄中里間) (0173-34-2148)	列車内ではダルマストーブの石炭が赤々と燃え、窓の外に広がる一面の銀世界を満喫することができる。また、ストーブの上でスルメを焼きながら地酒を酌み交わせば、身も心も温まることまちがいない。	☆
雪国地吹雪体験	1月20日(日) ～2月21日(木)	五所川原市 五所川原市内各所 (0173-54-1155)	地面に積もった雪が強風で舞い上がる津軽名物「地吹雪」を体験できる雪国ならではのユニークな体験ツアー。21年目を迎える今回は、新メニュー登場でリフレッシュ。お好きな体験プログラムで、津軽の地吹雪の中をモンペ、角巻き、かんじきで歩いてみよう！ ※メニュー・料金等については、要問合せ。	
スノーシューレッキング体験 in 芦野公園	1月中旬 ～2月下旬 10:30 芦野公園駅集合	五所川原市 芦野公園 (0173-54-1616)	カナダや北欧で冬の遊びとして人気を集めている雪原でのハイキングにピッタリのスノーシューを履いて津軽鉄道沿線にある芦野公園の冬景色の中を散策。一面氷に覆われた芦野湖が演出する幻想的な世界を専門ガイドの案内で堪能。冬スポーツ上級者にはクロスカントリースキーがおすすめ！ ※要予約	☆
第21回 「りんごの里いたやなぎ」 雪まつり	2月11日(月) 10:00～14:00	板柳町 板柳町ふるさとセンター (0172-73-3254)	毎年建国記念日に開催される、雪深い津軽地方ならではの雪祭り。親子で楽しめるコーナーや、ジャンボ滑り台、豪華景品が当たるクジつき「みかんまき」など、楽しい催し物が盛りだくさん。中でも、直径2.36mもある大きな「もつげなべ」で煮込む豚汁はおすすめの一品。 ※積雪状況により、内容に変更がある場合がある。	

下北地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
白い森の中で ～本州最北アニマル トラック～	2月3日(日)	むつ市 脇野沢地区 (0175-22-1111)	地元の動物写真家の案内のもと、北限のニホンザルやニホンカモシカなどの足跡を追跡し、本州最北に棲む動物について楽しく学ぶイベント。昼食には、脇野沢産「鱈のじゃば汁」を賞味。トラッキング後に行うクイズでは、成績優秀者に下北半島の特産品をプレゼント！ 【申込期限】1月30日(水) 【料金】1,500円(昼食付)	☆
福浦の歌舞伎 冬の段「食談義」	2月16日(土) 17:00～	佐井村 福浦地区「歌舞伎の館」 (0175-38-2111)	厳冬の津軽海峡でとれた海の幸を味わいながら、100年以上の歴史がある「福浦の歌舞伎」を楽しむ食談義ツアー。日帰りコースと1泊コースがある。 【申込期限】1月31日(木) 【料金・定員】10,000円(日帰り)・定員40名 18,000円(1泊2食付)・定員30名	
大間マクロ食ツアー& ペコもち作り体験の旅	2月23日(土) ～24日(日)	大間町 おおま温泉 海峡保養センター (0175-24-2146)	ブランド「大間マクロ」を食し、温泉に入って疲れを癒せる魅力的なツアー！お土産に人気のペコもち作りの体験もある。冬の本州最北端大間町の自然・文化・味覚を余すことなく体験できる。 【申込期限】2月16日(土) 【料金】19,800円(1泊3食付) 【定員】45名	
布海苔採り体験ツアー	2月23日(土)～24日(日) 3月8日(土)～9日(日)・ 22日(土)～23日(日)	風間浦村 易間海岸ほか (0175-35-2111)	風間浦村の冬の風物詩。荒波に育まれた布海苔を思う存分採り尽くすイベント。海岸では、布海苔汁や帆立焼きなどが楽しめる。また、下風呂温泉郷「ゆかい村」で温泉に入ることできる。風間浦の魅力を十分に堪能できる。 ※要予約 【料金】16,000円	

南部地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
十和田湖 冬の湖上遊覧	12月1日(土) ～3月31日(月) ※出港時間用問合せ。	十和田市 十和田湖(休屋)～中の湖 ～十和田湖(休屋) (0176-75-2909)	寒い季節にしか見ることのできない世界が繰り広げられ、神秘的な佇まいを見せる冬の十和田湖を遊覧船で楽しむことができる。ターミナルには、湖を一望できる無料休憩スペースを備えている。冬だけ来て良かった～見られて良かった～の感動を皆さまにお届けする。	☆
十和田湖冬物語2008	2月1日(金) ～24日(日)	十和田市 十和田湖畔 休屋特設イベント会場 (0176-75-2425)	期間中は、津軽三味線ライブやねぶたのハネト体験など北国青森の文化が楽しめる。また、連日打ち上げられる冬花火では、幻想的な世界に浸ることが出来る。	
ホワイトバトル2008 inしちのへ	2月3日(日)	七戸町 中央公園 (0176-62-9703)	ホワイトバトル(雪合戦)は、1チーム7人の選手が制限時間内に70個の雪玉を投げ合い、相手陣内のフラッグを奪い合う競技。小学生、レディース、一般の各部で大熱戦が繰り広げられる。会場では、地場産品料理の提供や特産品販売も行われる。	
旧正まける日	2月9日(土) ～10日(日)	七戸町 七戸中央商店街区 (0176-62-2521)	300余年の伝統を誇る商店街の買い物まつり。店の軒先で趣向を凝らしたセールを行う。その他、雪像コンテストや甘酒・おしるこのサービスなどもあり、町内外のお客様で賑わう。	☆
南部地方えんぶり	2月9日(土) ～10日(日)	南部町 剣吉地区・ 南部芸能伝承館野外広場等 (0178-76-3230)	北国に春を呼ぶえんぶり。南部町内のえんぶりは、すべて摺りのテンポが速く動きが激しい「どうさい」系で、「えぼし」をかぶった太夫達は、音頭トリの唄に合わせ勇壮な摺りを披露する。	
百石えんぶり	2月15日(金) ～17日(日)	おいらせ町 おいらせ町内・ 若宮八幡宮～分庁舎周辺 (0178-56-4276)	ふるさとに春を告げ、五穀豊穡を祈願するまつりで、天保年間から180年以上の伝統を誇る。毎年2月15日～17日に開催。15・16日は町内、17日は八戸市内にて一斉摺りに参加。なお、今年は八戸市庁前で行なわれる、かがり火えんぶりにも出演する。	
八戸えんぶり	2月17日(日) ～20日(水) (お庭えんぶりは、 22日(金)まで)	八戸市 市庁前広場・市中心街・ 更上閣・長者山ほか (0178-41-1661)	春を告げる豊年祈願のお祭り。約800年の歴史を持ち国の重要無形民俗文化財に指定されている。農耕馬をかたどった烏帽子を被った太夫(たゆう)と呼ばれる舞い手が舞を披露する様子は、まさに冬の寒さで閉ざされた春を呼び覚ます力強さを感じさせる。	
第15回 ふくちアイスアリーナ杯 争奪氷上綱引き大会	2月24日(日)	南部町 ふくちアイスアリーナ (0178-84-2850)	運動会やスポーツ大会などで行われている陸上での綱引きを長靴を履いて氷上で行う競技。選手たちは、号砲と同時に「よいしょ！よいしょ！」と元気よく声を掛けながら懸命に綱を引っ張る。慣れない氷上で転んだり引きずられたりする選手が続出し、観客席からの大きな笑い声援で賑わう。	

※1 「新」の欄に○印のあるものは、新規イベントです。

※2 「新」の欄に☆印のあるものは、あおり紀行2008冬・春版のイベント一覧の中で紹介できなかったものを今回調査し、つけ加えたものです。

※3 で色づけしているイベントは、1面にて紹介しているものです。

※4 イベント一覧に記載している以外にも、イベントにより、有料なもの、事前予約が必要なもの、定員がある場合もありますので、お出掛け前にご確認ください。

(注)開催時間は、あくまでも予定です。

教えて！三蔵先生！！



謎の遺跡紀行『キリストの墓』 その4. キリスト誕生

BC586年、南王国（2部族）がバビロニアに滅ぼされ捕囚となり、BC538年にはペルシア帝国によりバビロニアが滅ぼされ、ユダヤ人は解放された。

ユダヤ人は神の戒めに従った時は繁栄し、偶像崇拜等、教えに背いた時は罰が与えられるということに反省し、この時、旧約聖書の編纂に着手した。

神の戒めとは、十戒などモーセの律法（五書）のことでトーラーと言う。我々が良く口にする『虎の巻』の語源である。

旧約聖書は古い記録、詩集、預言者の書を集めて編纂したものである。古代ヘブライ語で書かれ、BC3世紀にはギリシア語に翻訳、その後、ラテン語やヨーロッパ系の言語に翻訳されていった。

西暦元年、イエス・キリスト誕生。暫くして、「遥か東方の彼方よりキリストを見るために預言者が訪ねて来た」と聖書にただ一行書かれている。その

後、キリストがこの預言者との関わりについては一切書かれていない。

全く不自然な文章である。遥か東方とは何処の国なのか、メシア（救世主）であるか確認に来たのかは一切触れていない。しかし、何かを暗示している。それはキリストの青年期（12年間）における空白期間と関係がある。

キリストがメシアでないと判断されれば、新約聖書に記載されることはない。メシアと判断されたからこそこの記述は生きてくる。神の子であるキリストは、当然、神宝に触れなければならない。その神宝は日本に秘匿されていることから、この預言者の出処についても書けなかったと見るべきであろう。

キリストの活動の空白期間は日本への旅の期間でもある。この旅は決して楽ではなかったが、ユダヤ人にとってはそんなに危険な旅ではなかった。

(つづく)

青森県市町村

このコーナーでは、青森県市町村観光担当課職員のオススメを紹介して行きたいと思います。

今回は、十和田市観光推進課

 野月明久 さん

からの投稿です。

☆ 十和田市現代美術館、 2008年春オープン！ ☆

青森県十和田市の官庁街通り全体を美術館と見立てて整備を進めている「十和田市野外芸術文化ゾーン」の拠点施設である「十和田市現代美術館」が、今年4月26日(土)にオープンします。

オノ・ヨーコ氏をはじめ国内外12カ国の21人のアーティストが新たに作品を制作し、設置します。作品数は全部で22点。アートを単に鑑賞する場ではなく、「作品の中に入る」、「作品に触れる」など、アートを通した「新しい体験」を提供する場となります。

桜の花が咲く頃のオープンとなりますので、桜で彩られた十和田にぜひお出で下さい。

- ・観光に関しては … 十和田市観光推進課
 - ・美術館に関しては … 十和田市企画調整課
- までお問い合わせ下さい。

Tel. 0176-23-5111

観光担当職員のオススメ

♡ ATE 事務局 ♡

〒030-8570

青森市長島1-1-1 青森県庁観光局新幹線交流推進課内

(社) 青森県観光連盟 & 青森県大規模観光キャンペーン推進協議会

電話 017-722-5080

20080123